

2025

12.1

No.1460

index

- ② 年末の交通事故ゼロを目指して
 ③ 福祉の相談は民生委員・児童委員へ
 ④・⑤ 特集 新しいごみの中間処理施設
 あつあいクリーンセンターに潜入!
 ⑥・⑧ 街の話題/コラム/お知らせ

デジタル広報配信 アプリは「マチイロ」「カタログポケット」ネットは「マイ広報紙」

暮らしを彩る



プレゼントには厚木の花を

部屋の飾りや贈り物にぴったりの市内産シクラメンは、1月下旬まで楽しめます。

■販売場所

- ・夢未市(温水255)☎290-0141
- ・グリーンセンター(三田1827-1)☎241-6150
- ・佐々木花園(飯山4476)☎090-1038-3516
- ・清田園芸(戸田1836)☎228-4676
- ・野口園芸(下荻野685)☎241-2018

問 農業政策課☎225-2801

現在、市内では三つの農園が手塩にかけてシクラメンを育てています。思
いが込められた花が、冬の暮らしに彩
りを添えてくれます。

「変わりやすい気候で適切な温度管理が難しいが、花は汗をかいだ分だけきれいに咲いてくれる。これから季節が旬のシクラメンで、見る人の心を華やかにできたら」。そう話すのは市内でシクラメンを栽培して50年になる花園の3代目・佐々木潤一さん(47・飯山)。昨年11月に植えた種は、夏の厳しい暑さの中でも、丁寧な管理の下で少しずつ成長。1年以上にわたって手間と愛情を注ぎ、美しい姿に仕立て上げられました。

赤やピンク、白といった色鮮やかな花たち。伸び伸びと開く花びらが、温室いっぱいに広がっています。寒さ深まる12月、厚木のシクラメンが出荷の最盛期を迎えました。

シクラメンの季節



ドライバーも歩行者も思いやりを持った行動を

自転車利用五則

自転車は軽車両に該当します。運転時は「車」として、交通ルールやマナーを守りましょう。

1 車道が原則、左側を通行 歩道は例外、歩行者を優先

自転車は車道通行が原則です。左端に寄って通行しましょう。

2 交差点では信号と一時停止を守って安全確認

信号や一時停止を守り、安全を確認して横断しましょう。

3 夜間はライトを点灯

ライトは周囲を照らし、暗い場所で自動車や歩行者に存在をアピールできます。

4 飲酒運転は禁止

自動車と同じく、お酒を飲んで自転車を運転してはいけません。

5 ヘルメットを着用

自転車乗車時は、子どもも大人もヘルメットをかぶりましょう。

事故の多くは、スマートフォンを操作しながらの運転や制限速度を超える走行、歩行者による横断歩道のない道路の横断、信号無視など、ルールを守らない行動が原因です。交通量が増え

18件で、死者は前年から1人増の3人でした。自動車同士の追突や正面衝突などが最も多く、自転車や高齢者が関係するケースも増えています。防ぐためには、運転者だけでなく歩行者も交通ルールやマナーを守ることが大切です。

昨年、市内で発生した交通事故は6件で、死者は前年から1人増の3人でした。自動車同士の追突や正面衝突などが最も多く、自転車や高齢者が関係するケースも増えています。防ぐためには、運転者だけでなく歩行者も交通ルールやマナーを守ることが大切です。

て事故の危険が高まる12月は、飲酒の機会が多くなる時期でもあります。本人はもちろん、周りの人も「飲酒運転はしない・させない」の徹底が大切です（下欄参照）。日没時間も早くなるため、厚木警察署の阿部勇署長は「暗くなる前のライト点灯が大切。歩行者も反射材を身に着け、横断歩道を渡る際は周囲を確認しながら横断してほしい」と呼び掛けます。

自転車の事故が増加傾向

近年、健康意識の高まりや手頃な移動手段として便利なことから、自転車の利用が増加しています。一方、一時

12月11日から20日までは「年末の交通事故防止運動期間」です。交通規則やマナーを再確認し、安心して新年を迎えましょう。

12月11日から20日までは「年末の交通事故防止運動期間」です。交通規則やマナーを再確認し、安心して新年を迎えましょう。

問くらし交通安全課☎225-2760

機会が多くなる時期でもあります。本人はもちろん、周りの人も「飲酒運転はしない・させない」の徹底が大切です（下欄参照）。日没時間も早くなるため、厚木警察署の阿部勇署長は「暗くなる前のライト点灯が大切。歩行者も反射材を身に着け、横断歩道を渡る際は周囲を確認しながら横断してほしい」と呼び掛けます。

不使用や信号無視などを原因とする若者や高齢者の事故が多発しています。

国では2022年、「自転車利用五則」

を15年ぶりに改正しました（左欄参

照）。致命傷となる頭部を守るため、

子どもに限っていたヘルメット着用を

全世代に拡大。道路交通法でも努力義

務となる中、市でも中学・高校生への

「ヘルメット・インフルエンサー」の

任命や購入費補助などを通じて着用を

広く呼び掛けています。

不使用や信号無視などを原因とする若者や高齢者の事故が多発しています。

国では2022年、「自転車利用五則」

を15年ぶりに改正しました（左欄参

照）。致命傷となる頭部を守るため、

子どもに限っていたヘルメット着用を

全世代に拡大。道路交通法でも努力義

務となる中、市でも中学・高校生への

「ヘルメット・インフルエンサー」の

任命や購入費補助などを通じて着用を

広く呼び掛けられています。

不使用や信号無視などを原因とする若者や高齢者の事故が多発しています。

国では2022年、「自転車利用五則」

を15年ぶりに改正しました（左欄参

照）。致命傷となる頭部を守るため、

子どもに限っていたヘルメット着用を

全世代に拡大。道路交通法でも努力義

務となる中、市でも中学・高校生への

「ヘルメット・インフルエンサー」の

任命や購入費補助などを通じて着用を

広く呼び掛けられています。

不使用や信号無視などを原因とする若者や高齢者の事故が多発しています。

国では2022年、「自転車利用五則」

を15年ぶりに改正しました（左欄参

照）。致命傷となる頭部を守るため、

子どもに限っていたヘルメット着用を

全世代に拡大。道路交通法でも努力義

務となる中、市でも中学・高校生への

「ヘルメット・インフルエンサー」の

任命や購入費補助などを通じて着用を

広く呼び掛けられています。

不使用や信号無視などを原因とする若者や高齢者の事故が多発しています。

国では2022年、「自転車利用五則」

を15年ぶりに改正しました（左欄参

照）。致命傷となる頭部を守るため、

子どもに限っていたヘルメット着用を

全世代に拡大。道路交通法でも努力義

務となる中、市でも中学・高校生への

「ヘルメット・インフルエンサー」の

任命や購入費補助などを通じて着用を

広く呼び掛けられています。

不使用や信号無視などを原因とする若者や高齢者の事故が多発しています。

国では2022年、「自転車利用五則」

を15年ぶりに改正しました（左欄参

照）。致命傷となる頭部を守るため、

子どもに限っていたヘルメット着用を

全世代に拡大。道路交通法でも努力義

務となる中、市でも中学・高校生への

「ヘルメット・インフルエンサー」の

任命や購入費補助などを通じて着用を

広く呼び掛けられています。

不使用や信号無視などを原因とする若者や高齢者の事故が多発しています。

国では2022年、「自転車利用五則」

を15年ぶりに改正しました（左欄参

照）。致命傷となる頭部を守るため、

子どもに限っていたヘルメット着用を

全世代に拡大。道路交通法でも努力義

務となる中、市でも中学・高校生への

「ヘルメット・インフルエンサー」の

任命や購入費補助などを通じて着用を

広く呼び掛けられています。

不使用や信号無視などを原因とする若者や高齢者の事故が多発しています。

国では2022年、「自転車利用五則」

を15年ぶりに改正しました（左欄参

照）。致命傷となる頭部を守るため、

子どもに限っていたヘルメット着用を

全世代に拡大。道路交通法でも努力義

務となる中、市でも中学・高校生への

「ヘルメット・インフルエンサー」の

任命や購入費補助などを通じて着用を

広く呼び掛けられています。

不使用や信号無視などを原因とする若者や高齢者の事故が多発しています。

国では2022年、「自転車利用五則」

を15年ぶりに改正しました（左欄参

照）。致命傷となる頭部を守るため、

子どもに限っていたヘルメット着用を

全世代に拡大。道路交通法でも努力義

務となる中、市でも中学・高校生への

「ヘルメット・インフルエンサー」の

任命や購入費補助などを通じて着用を

広く呼び掛けられています。

不使用や信号無視などを原因とする若者や高齢者の事故が多発しています。

国では2022年、「自転車利用五則」

を15年ぶりに改正しました（左欄参

照）。致命傷となる頭部を守るため、

子どもに限っていたヘルメット着用を

全世代に拡大。道路交通法でも努力義

務となる中、市でも中学・高校生への

「ヘルメット・インフルエンサー」の

任命や購入費補助などを通じて着用を

広く呼び掛けられています。

不使用や信号無視などを原因とする若者や高齢者の事故が多発しています。

国では2022年、「自転車利用五則」

を15年ぶりに改正しました（左欄参

照）。致命傷となる頭部を守るため、

子どもに限っていたヘルメット着用を

全世代に拡大。道路交通法でも努力義

務となる中、市でも中学・高校生への

「ヘルメット・インフルエンサー」の

任命や購入費補助などを通じて着用を

広く呼び掛けられています。

不使用や信号無視などを原因とする若者や高齢者の事故が多発しています。

国では2022年、「自転車利用五則」

を15年ぶりに改正しました（左欄参

照）。致命傷となる頭部を守るため、

子どもに限っていたヘルメット着用を

全世代に拡大。道路交通法でも努力義

務となる中、市でも中学・高校生への

「ヘルメット・インフルエンサー」の

任命や購入費補助などを通じて着用を

広く呼び掛けられています。

不使用や信号無視などを原因とする若者や高齢者の事故が多発しています。

国では2022年、「自転車利用五則」

を15年ぶりに改正しました（左欄参

照）。致命傷となる頭部を守るため、

子どもに限っていたヘルメット着用を

全世代に拡大。道路交通法でも努力義

務となる中、市でも中学・高校生への

「ヘルメット・インフルエンサー」の

任命や購入費補助などを通じて着用を

広く呼び掛けられています。



地域をつなぐ

睦合北地区民生委員・児童委員
井上 英男さん（79・三田）

仕事が落ち着いたのをきっかけに、12年前から活動しています。

高齢者向けサロンのほかに、小学生と高齢者の交流の場をつくりたり、毎月一人暮らしの高齢の方の家に訪問して悩み事を聴いたりしています。最初は警戒していた人が次第に受け入れてくれ、楽しく会話できるようになるのがうれしくてやりがいを感じています。

少しでも地域の力になればと思って活動しています。ささいな事でもいいので、困り事や悩み事があれば気軽に相談してください。

Zoom Up

12月に265人を委嘱

福祉の相談は民生委員・児童委員へ

地域住民の悩みに耳を傾け、必要な支援や福祉サービスを受けられるよう関係機関へつなぐ民生委員・児童委員。265人が新たに委嘱され、12月1日から地域の安心を支えるために活動を開始します。

地域の身近な相談相手

民生委員・児童委員は、一人暮らしの高齢者や障がい者、子育て世帯などから生活に関する不安や困り事を聞き、適切な支援や福祉サービスを紹介します。高齢者の孤立化や核家族化が進み、地域社会のつながりが薄れがちになる中、地域と行政、関係機関をつなぐパイプ役として重要な役割を担っています。

地域のネットワークづくりにも貢献

しています。地域の民生委員・児童委員が運営に携わっている睦合北地区的高齢者向けサロン「火曜会」に参加する宗形節子さん（76・三田）は「家に一人でいることが増えた頃から毎月参加している。普段は関わらない近所の

民生委員・児童委員は、一人暮らしの高齢者や障がい者、子育て世帯などから生活に関する不安や困り事を聞き、適切な支援や福祉サービスを紹介します。高齢者の孤立化や核家族化が進み、地域社会のつながりが薄れがちになる中、地域と行政、関係機関をつなぐパイプ役として重要な役割を担っています。

厚生労働大臣から委嘱される民生委員・児童委員の任期は3年。12月1日付で一斉改選され、担当地区を持つ民生委員・児童委員238人、児童福祉活動を始めます。自治会長が推薦する地域の実情を良く知り、地域活動に意欲を持っている方々です。

子育ての相談も

人たちとつながれるのがうれしい。交流が増え、外出したり他の交流会にも参加したりするきっかけになった」と話します。

民生委員・児童委員は、主任児童委員と連携しながら子育て世帯へのサポートにも力を注いでいます。小・中学生の登下校の見守りや子育てサロンへの参加、妊娠婦への子育て相談などを通じて、地域の子どもたちの健やかな成長を支えています。

誰もが安心して暮らせる地域をつくるために欠かせない民生委員・児童委員。「少し話を聞いてほしい」「どこに相談したらいいか分からぬ」などの不安や悩みを抱えた時に、身近な相談役として寄り添ってくれる心強い存在です。

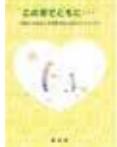
12月3～9日は障害者週間

障がい者の社会参加と自立を支え合い、誰もが地域で自分らしく暮らせる社会となるよう、障がいへの理解を深めましょう。

問 障がい福祉課 ☎ 225-2221

知ることから始めましょう

障がいへの理解を深めるためのガイドブックを公開しています。



障がい者手作り製品の展示・即売会

障がいのある方による手作り製品を手に取ってみませんか。

日 時 12月1～5日 10時30分～14時
場 所 市役所本庁舎

販売品 ポストカード、アクセサリーなど

※製品の一部は、市まるごとショップ「あつまる」で販売

住まいの近くの相談先

市障がい者相談支援センター

専門の相談員が、障がいに関するさまざまな相談を受け付けています。

相談時間 平日 8時30分～17時15分（祝日・年末年始を除く）
電話相談可



詳細はこちら

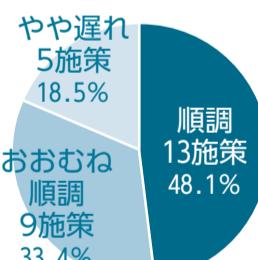
まちづくりの進み具合を確認

施策評価の結果

施策評価は、将来のまちづくりの方向性を定めた第10次総合計画の進み具合を検証する仕組みです。結果は、今後の市政運営に活用していきます。

施策評価とは

- ①「市民実感度調査」の結果
- ②保育施設入所率などの「代表となる指標」
- ③ごみ減量化・資源化推進事業などの「事業指標」
- ①～③の実績から各施策の達成率を点数化し、4段階で評価します。



詳細はこちら



今回のポイント

- ・施策全体の8割以上が「順調」または「おおむね順調」
- ・遅れとなった施策はありませんでした
- ・施策の達成度を評価する市民実感度は、77項目中46項目で上昇
- ・市民実感度が特に高かったのは「日常生活に必要な施設が身近にある」「子育てサービスの充実」「消防・救急・救助体制の充実」
- ・施策による市民の行動の変化は、27項目中12項目で上昇
- ・幸福度で「とても幸せ」「幸せ」「ふつう」と回答した人の合計は94.9%（0.3㌽上昇）

問企画政策課 ☎ 225-2455



新たな憩いの場に 緑地のエリア

大規模災害時には、燃えるごみや粗大ごみの一時保管場所として活用されます。

《利用時間》 4~9月=8時30分~18時
10~3月=8時30分~17時
(12月29日~1月3日は休場)

《主な施設》 多目的広場、大型遊具、幼児用遊具、駐車場

施設の仕組みを見て学ぶ 施設見学

係員の説明を受けながら、施設の見学会ができます。



《開催日時》 火・水・第2土曜 13時30分~15時30分

■厚木愛甲環境施設組合HPにある申込書をEメールで厚木愛甲環境施設組合✉atsugi-aiko@r3.dion.ne.jpへ。詳細は組合HPに掲載。



安心して生活できるように

金田地区環境保全委員会
角田 正男さん (69・金田)

10年以上前から市や環境施設組合と協議を重ね、排出されるガスをより安全にする最新設備の導入などを要望してきました。施設が本格的な稼働を始めた後も、安心して生活できるよう見守り続けたいです。

センターの緑地は誰でも利用できるので、地域住民だけでなく、多くの方が利用する場所になってほしいです。施設の完成をきっかけに、ごみの資源化や減量にも関心を持ってもらい、協力してもらえるとうれしいです。



環境を守るために ごみ出しのルールに協力を

施設や環境への負担を減らすために協力をお願いします。

■環境事業課☎225-2790

■「もえるごみ」ではなく資源に

- 空き箱、画用紙、洋服など=「紙類・布類」
- マークのあるプラスチック包装=「プラスチック製容器包装」
- 揚げ物などで使った食用油=「廃食用油」
- 木の枝、落ち葉、雑草など=「せん定枝」

■リチウムイオン電池は単体で集積所へ

発火リスクが高いリチウムイオン電池は、他のごみと混ぜて出すと收集車や中間処理施設の中で火災を起こす原因になります。ごみに出す場合は、単体で透明または半透明の袋に入れて集積所へ。

■粗大ごみは、予約して環境センターに持ち込むか戸別回収を

■市HPの専用フォームから申し込みまたは電話で環境事業課☎225-2790へ。



環境への負担を減らすため

市廃棄物減量等推進審議会委員
尾島 洋さん

新しい中間処理施設では、3市町村がまとめてごみを処理します。複数市町村が1カ所でごみを処理するため、排気ガスや施設の運営費用の削減につながります。

資源を再利用してごみの処理コストを減らすため、市はごみの分別を呼び掛けています。せん定枝や落ち葉、雑草などは肥料になり、プラスチック包装も資源化されると新しい容器やテニスラケットなどに生まれ変わります。環境への影響を減らし、いつまでも安全に生活できるよう、ルールを確認して分別に取り組んでいただきたいです。

特集：新しいごみの中間処理施設

あつあいクリーンセンターに潜入!

厚木市、愛川町、清川村が共同で金田地区に整備したごみの処理施設「あつあいクリーンセンター」が、12月から本格稼働します。稼働前の施設に環境問題に関する市内の小学生「ジュニアエコリーダー」が潜入。施設の機能やごみ処理の現状を紹介します。

■厚木愛甲環境施設組合☎297-1153

私たちが
潜入しました!

青木 柚羽香さん
(毛利台小学校6年)

石川 暖さん
(戸室小学校6年)

刑部 千夏さん
(厚木小学校5年)

ヘルメットを
かぶって出発!



あつあいクリーンセンターは ごみを資源にする場所

ごみを焼却・破碎し、再利用できる灰や鉄、アルミニウムなどに分別する施設です。一般的には資源にならないごみは埋め立てなどで最終処分されますが、「あつあいクリーンセンター」では全てを資源化。1日で226㌧の燃えるごみと12㌧の粗大ごみを処理できます。



見学を終えて



想像以上にごみが多くて驚きました。
粗大ごみの一つ一つに危険物が入っていないかを確認していることを知り、作業員の人が大変にならないよう分別してごみを出したいと思いました。

青木 柚羽香さん

灰の中に鉄などが残っていてびっくりしました。金属が焼却炉に入ると機械を傷つけて故障の原因になると聞き、安全にごみを処分するために分別のルールが決まっているだと感じました。

刑部 千夏さん

灰が道路の材料になり、ごみを燃やした熱が電気を生み出すなど環境を守るための工夫を感じました。ごみが減ったら環境により優しくなるので、学校や家で減量に取り組みたいです。

生まれた熱や電気は ふれあいプラザでも活用

ごみを燃やして生まれたエネルギーは、あつあいクリーンセンターだけでなく、近くにある「ふれあいプラザ」にも供給。温水プールや冷暖房などの施設を動かすために使っています。



3

焼却炉で細かな灰に

850度以上で燃やした後に出てる焼却灰は、道路を造る材料など、資源として再利用されます。



出た煙を
ろ過してきれいに!

ごみを燃やして
生まれた煙は、
374本のフィルター
できれいに。煙突
から出ているのは、
ほとんど水蒸
気なんだって。本
数にびっくり!



粗大ごみも
分別され資源に!

細かく碎いた後、
ふるいや磁石など
で鉄やアルミニウム
に選別し、再利用
されるんだって!
木くずなどの木片
は燃えるごみと一緒に
焼却炉へ。



待ち受けるのは...
この先に



クレーンでかき混ぜる

集められたごみは焼却炉に入れた時、一定の温度で燃やせるようにクレーンでかき混ぜます。



クレーンは
人工知能(AI)が操作!

カメラの映像か
らごみの種類を確
認して、混ざるよ
うにAIが自動で
操作! 人がいなく
ても作業できるね。



街全体が歓声に包まれる

「にぎわい爆発 あつぎ国際大道芸2025」を開催



2日間で約3万人が来場した

家族で訪れた川瀬紗樹さん（33）は、「イベントに来たのは初めて。間近で迫力あるパフォーマンスを楽しめて良かった」と話す。息子の楓さん（7）も「高いところに登る芸がすごかった」と笑顔を見せました。

11月8・9日に本厚木駅周辺で「あつぎ国際大道芸」が開かれ、総勢36組のパフォーマーが街を訪れた人たちを楽しませました。

16回目となる今回は、23組が初出演。火吹きやジャグリングなどの迫力ある演技が披露されると、観客からは大きな歓声が上がりました。市制70周年を記念してダンスアーティストのケント・モリさんがダンスを指導した学生たちとのダンスステージを開催。会場を盛り上げました。



6年ぶりの野外開催

「あつぎミュージックフェスティバル」で観客が熱狂

有名アーティストが出演するコンサート「あつぎミュージックフェスティバル」が、11月に開催されました。会場の厚木中央公園には約4千人が集まり、出演者たちのパフォーマンスに熱狂しました。



11組が歌声を披露した

野外での開催は6年ぶり。9月に開催された新人歌手発掘オーディションで大賞を受賞した向井柚貴さんをはじめ、F R U I T S Z I P P E Rなど総勢11組のアーティストたちが次々と登場し、5時間にわたり会場を盛り上げました。

友人と来場した小野間史佳さん（27・戸田）は「野外のフェスティバルは、開放感があり楽しかった。ステージと客席が一体になつて盛り上がりしている雰囲気が最高」と笑顔で話しました。

厚木路を選手が力走

「2025あつぎマラソン」で1057人が出走

上競技部の柏原竜二さんら4人も参加しました。秋雨が降る中、開始を告げる号砲とともに一斉にスタート。懸命に走り抜ける選手たちに沿道からは多くの声援が送られました。

10キロ29歳以下の男子の部で優勝した浅岡祐希さん（29・妻田）は「自分の走りをして、昨年より良いタイムを出すことを目標にしていた。達成できてよかったです」と話しました。



スタートの合図で走り出す選手たち

環境問題を身近なものに

「2025あつぎ環境フェア」を開催

会場には「カーボンニュートラル」「3R・ごみ問題」「自然環境保全」「美化衛生・動物愛護」「地産地消」をテーマに、32のブースが出展。多くの来場者が電気自動車の展示やワークショップなどを楽しみました。親子でイベントに参加した土肥元宏子さん（40・恩名）は「子どもたちが楽しめて良かった。環境問題を考えるきっかけにつながれば」と話し、息子の景斗さん（8）は「カエルに触れたのがうれしかった」と笑顔で話しました。

市制70周年を記念し、市内に生息する希少な生き物3種のミニチュアフィギュアもカプセルトイで限定販売。生物多様性の大切さを呼び掛けました。



カプセルトイを楽しむ親子

みんなで祝おう！ 70周年

2025年2月1日、市制施行70周年を迎えました。節目の年を皆さんとお祝いするため、スポーツ・文化芸術・歴史など幅広い分野で事業を実施。連載では、旬な話題を紹介していきます。

今月の話題 いきものコレクションを製作・販売

自然や生態系への関心を深めるため、市内の川や田んぼなどに生息する希少生物のユニークなミニチュアフィギュアを製作しました。



1個300円。販売は2月16日まで(数量限定)

ミニチュアフィギュアの詳細は市HPをご覧ください。

企画政策課 225-2450



フィギュアは、絶滅が危惧されている①アカハライモリ②シュレーゲルアオガエル③ホトケドジョウとミクリの3種類。環境政策課窓口で販売しています。

「タッチ」「キン肉マン」「はじめの一歩」。少年時代に夢中になつた漫画は、ページをめくると熱い気持ちがよみがえる私にとっての「魂のバイブル」です。

日本が世界に誇る文化である漫画をテーマにした国内初の美術館が、友好都市の秋田県横手市にあります。11月にアミューあつぎで開催した「横手市増田まんが美術館・厚木出張所」では、同館が所蔵する矢口高雄さんをはじめとした6人の著名

大好きな漫画の主人公たちは、いづれも「愛」と「誇り」を胸に戦っています。私も憧れの主人公たちに負けない「あつぎ愛」と「あつぎプライド」を持って、魅力あるまちづくりにまい進してまいります。

厚木愛通信



高橋横手市長と漫画の世界へ

初日の15日には、高橋大横手市長、「銀牙」流れ星「銀」でおなじみの高橋よしひろ名誉館長らと共にオープニングセレモニーに出席しました。

漫画家の複製原画を出張展示。会場には個性あふれる作品がずらりと並び、多くのファンが目を輝かせました。

タウンガイド

12月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

1月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3		
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

あかちゃんハイハイレース

12月6日、10時～14時30分。アミューあつぎ。専用コースをハイハイし、ゴールを目指す（参加賞とギフト券を進呈）。定員120人。無料。申不要。先着順。詳細はアミューあつぎHPに掲載。問商業観光課☎225-2840。



昆虫マンションを作ろう

1月31日、10～13時。あつぎこどもの森公園。朽ち木に生息する昆虫の観察とすみか作り。市内在住学の小学生と保護者20人。無料。申Eメールに住所、氏名（ふりがな）、年齢、電話番号を書き、12月17日までに環境政策課☎225-2749・✉3100@city.atsugi.kanagawa.jpへ。抽選。白

あつぎストリートフェス (市民協働提案事業)

12月20日、16時30分～18時30分。中町花の公園。路上ミュージシャンによるストリートライブ。無料。申不要。問文化魅力創造課☎225-2508。



3D都市モデル講座

12月16日、15時～16時30分。①あつぎ市民交流プラザ②オンライン。地形や建築物などを3次元で

手ぶらで利用ができる

無料

マイナンバーカード 出張申請サポート

平日に市役所に行けない方も、予約なしでマイナンバーカードを申請できます。すでにお持ちの方で、更新の通知が届いた方も利用できます。

問市民課☎225-2258

■12月21日

会場 コーナン厚木下荻野店
(下荻野1200-1)

■1月18日

会場 スーパービバホーム
厚木南インター店 (酒井1601-4)

いずれも時間は10～16時。持ち物不要。

申不要。直接会場へ。詳細は市HPに掲載。



詳細はこちら

ホット
インターネット
モニターからの
意見を紹介



インターネットモニター募集中
厚木市 インターネットモニター 検索

広報シティプロモーション課☎225-2043

11月1日号「広報あつぎ」を読んで

- ◆善意の支えで私たちの暮らしが成り立っていることに感謝。消防団の良い笑顔が印象的だった／40代女性
- ◆映像を送信できるのは傷病者も通報者も安心感につながる／50代女性 ◆当事者は虐待と思っていたことも考えられるので、地域での協力が必要／40代女性
- ◆犯罪が増加する中、見守りなど地域での継続的な活動が重要だと感じた／60代男性 ◆散歩中によく見かける生物の名前を自然歳時記で覚えた／70代以上男性

参加無料 皆さんの作品を募集

あつぎ愛展

厚木の自然や風景などをテーマにした作品を募集します。問文化魅力創造課☎225-2508

展示期間 ①1月31日～2月12日 ②2月14～27日

展示会場 あつぎロードギャラリー

募集内容 ①川柳、俳句、写真、書道 ②美術

内容	テーマ	問い合わせ
川柳	温泉・さつき	清水☎223-0667
俳句	厚木の冬～春にちなんだもの	川島☎221-3988
写真	厚木の行事や風景	菅☎090-3694-6492
書道	厚木に関すること	紙崎☎242-8765
美術	厚木に関すること	藤巻☎080-9547-8889

申1月9日までに各代表者へ。詳細は問い合わせてください。



再現した「3D都市モデル」の概要や活用方法などを学ぶ。市内在住勤在学の方50人。無料。申電話またはEメールに住所、氏名（ふりがな）、会社名（学生は学校名）、年齢、電話番号、Eメールアドレス、希望の参加方法（会場・オンライン）を書き、12月12日までに都市計画課☎225-2400・✉4600@city.atsugi.kanagawa.jpへ。先着順。

スキマFIT over 40

1月28日、14時～15時30分。荻野公民館。保健師による健康づくりの講話とラテン系の音楽に合わせた運動。市内在住の40歳以上20人。無料。申1月7日までに健康医療課☎225-2201へ。抽選。白

あつぎ夢プロジェクトの参加者募集(市民協働提案事業)

1月24日、14～16時。東町スポーツセンター。厚木はやぶさFCの選手からサッカーの基礎技術を学ぶ。小・中学生と保護者20人。無料。申ファックス、Eメールに住所、氏名、学年、電話番号、参加希望事業を書き、1月5日までにあつぎ夢プロジェクト事務局Fax☎294-0888・✉yume.pro.atsugi@gmail.comへ。抽選。問生涯学習課☎225-2512。

会計年度任用職員の登録者を募集

職員の欠員や出産休暇などの際、補助業務に当たる職員の登録者を随時募集しています。

《職種》一般事務、保育士、保健師など 《任期》最長1年 《対象》18歳以上（職種によって要資格）。

職種や給与などの詳細は市HPに掲載《採用の流れ》①エントリーシートを提出②書類選考③選考結果により面接④任用開始。申職員課や市HPにあるエントリーシートと小論文を直接、職員課☎225-2070へ。詳細は市HPに掲載。

あつぎ郷土博物館の臨時休館

12月15～28日は、くん蒸作業のため、休館します。問あつぎ郷土博物館☎225-2515。

12月4～10日は人権週間

人権は、誰もが生まれながらに持っている権利で、幸せに生きるために等しく尊重されるべきものです。人権の大切さを考えましょう。問市民協働推進課☎225-2215。



《パブリックコメント》
第3次市教育振興基本計画・市教育大綱の策定

《閲覧期間》12月1日～1月5日《閲覧場所》教育総務課、市政情報コーナー、公民館、本厚木・愛甲石田駅連絡所、中央図書館、あつぎ市民交流プラザ、保健福祉センター、あつぎセーフティーステーション番屋、南毛利スポーツセンター、荻野運動公園、子育て支援センター、ぼうさいの丘公園、ふれあいプラザ、あつぎ郷土博物館、子ども科学館、市HP《応募方法》閲覧場所にある用紙に掲載。問教育総務課☎225-2663。

厚木市 市民参加

検索



インターネット
モニターからの
意見を紹介



インターネットモニター募集中
厚木市 インターネットモニター 検索

広報シティプロモーション課☎225-2043

編集後記

センターのごみに目を凝らすと、燃えるごみに資源となるプラスチック包装やペットボトルなどが混じっています。その場で仕分けるのは難しいため最終的には全て焼却炉の中に入れられるそうです。灰の中に溶けずに残った金属を見て、「それぞれに合った処分をするために分別がある」と施設の方が話しているのが印象的でした。ごみの分別に間違いがないか、小まめに見直そうと思いました／野口

12月25～31日に歳末火災特別警戒を実施

年末は火の元に注意



一人一人の意識で
火災は防げる

警防課 原口 竜二 (35)

気温が下がる冬は暖房器具を使う機会が増え、火災のリスクが高まります。特に年末は慌ただしくなるので、火の管理をおろそかになりがちです。火の元から離れない、ガスコンロなどの近くに物を置かない、コンセント周りを掃除するなどの対策を徹底してください。

家を出る時や就寝前に火の元をもう一度確認するなど、余裕を持った行動を心掛け、火災予防に努めてください。

空気が乾燥して火災が起きやすい季節です。期間中は「急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし」をスローガンに警戒体制を強化し、消防車両で巡回します。

問 警防課 ☎ 223-9368



井上純 × 観覧者募集 屏風プロジェクト

市内出身のアーティスト・井上純 (JUN INOUE) さんが、古くなり使用しなくなった屏風を使った公開制作を開催。作品は1月13日から31日まで、アミューあつぎ9階に展示します。問 文化魅力創造課 ☎ 225-2508

日時 1月7～12日 (9日は除く) 10～17時

会場 あつぎ市民交流プラザ アートギャラリー

費用 無料。

申込不要。直接会場へ。

観覧者募集



詳細は[こちら](#)

●特設スペースでの鑑賞会

井上さんが作品を描く様子を近くで観覧できます。

日時 1月10・11日 10時30分～11時30分

申込不要。直接会場へ。



5月に複合施設「あつめき」建設地で開催した「壁画プロジェクト・フリーウォール」での井上さんと作品

自然歳時記

●キセキレイ ●

セキレイ科

体長20センチほど。上流の川縁で見られ、空中でユスリカやカゲロウなどの昆虫を食べる。胸と腹の黄色が目立ち、「チチチ」と鳴く声が美しい／中津川、才戸橋付近で見つけた。

写真・文／吉田文雄



川縁を歩いていると、「チチチ、チチチ」と鳴きながら石から石へ飛び移って昆虫を探すキセキレイがいた。川の水は澄み切って美しく、川底にある石もくっきりと見える。

腰を下ろし辺りをゆっくり見ると、カワセミやカワガラスも軽快に飛んでいった。こんな場所で生活す

るキセキレイは幸せだろうと感じた。

ふと気が付くと、川のほとりに捨てられているごみ袋をキセキレイが横目で見ていた。冷たい水の中、ごみ袋を拾って持ち帰った。12月は大掃除の時期。みんなで小さな活動を続ければ、きっと地球の環境は守れると信じている。

厚木市の人口

(11月1日現在)

世帯数

10万7278世帯 (前月比47世帯増)

人口

22万2763人 (前月比34人減) 男11万4848人・女10万7915人